

センサチェッカ CHX-SC2



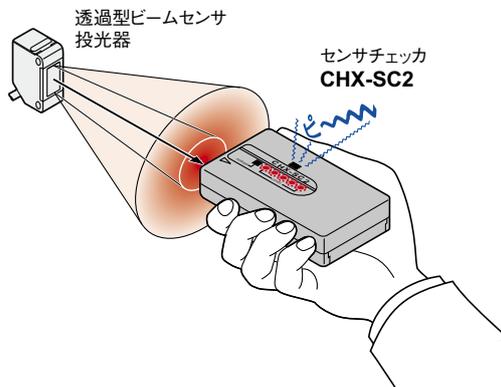
本カタログに記載の標準価格(税別)は、旧価格表示となっています。
2023年2月から標準価格(税別)を改定させていただきました。
改定後の新価格につきましては、弊社Webサイトの商品ページを
ご覧いただくか、最寄りの販売店または弊社にお問い合わせください。

透過型ビームセンサの光軸調整に威力を発揮



光軸調整に便利

透過型ビームセンサの光軸を確認できますから、センサの光軸調整が簡単に行なえます。

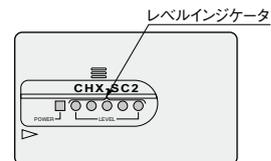


センサを選ばない

赤外光タイプと赤色光タイプのビームセンサに使用できます。

最適位置を光と音でお知らせ

透過型ビームセンサの投光器とCHX-SC2を一直線に対向させ、光軸が合えばレベルインジケータの点灯数が多くなり、ブザー音も高くなります。ブザー音はイヤホンでも確認できますので、騒音の多い場所でも使用できます。



小型・軽量

W100×H60×D23mmのコンパクトサイズ。ポケットに入るサイズですから、現場での持ち運びに便利です。

[電源：9V乾電池(別途ご用意ください。)]

種類と価格

形状	型式名	標準価格 (税別)
	CHX-SC2	10,000円

仕様

項目	型式名	CHX-SC2
適合センサ		赤外光および赤色光タイプの透過型ビームセンサ
電源電圧		9V[006P乾電池(注2)]
電源表示灯		赤色LED(通電時点灯)
光量モニタ		赤色LED×5個(入光量に応じ順次点灯) イヤホンにて音で確認(入光量に応じ周波数が高くなる)(注2)
感度ボリューム		連続可変ボリューム装備
使用周囲温度		0～+40℃、保存時：0～+40℃
使用周囲湿度		35～85%RH、保存時：35～85%RH
材質		ケースベース：ABS、トップカバー：ABS
質量		本体質量：約95g

(注1)：指定のない測定条件は、使用周囲温度＝+20℃です。

(注2)：9V乾電池およびイヤホンは付属していませんので、別途ご用意ください。

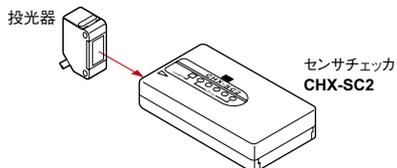
正しくご使用ください



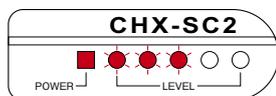
- ・本製品は、人体保護用の装置には使用しないでください。
- ・人体保護を目的とする装置には、OSHA、ANSI、およびIEC等の各国の人体保護用に関する法律および規格に適合する製品をご使用ください。

使用方法

- ①電源スイッチをONにします。このとき、入光していてもブザーが鳴ることがあります。但し、感度ボリュームが最小のときは鳴りません。
- ②感度ボリュームを最大にします。
- ③投光器とCHX-SC2を、一直線上に対向させます。



- ④投光器の光が入光すると、レベルインジケータが点灯し、ブザーの音が高くなります。尚、ブザーはレベルインジケータが3個または4個点灯したときに鳴り始めます。

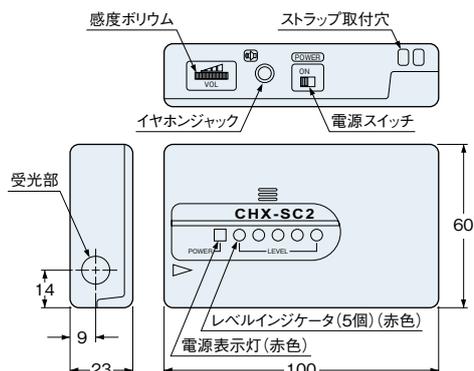


- ⑤感度ボリュームを回してレベルインジケータが3個程度点灯するレベルに感度を調整します。
- ⑥CHX-SC2を上下左右に動かして、レベルインジケータが最も多く点灯し、ブザーの音が最も高くなった位置が最適な位置です。
このとき、感度が高すぎると、遮光状態にしてもレベルインジケータが一部点灯していますが、異常ではありません。
- ⑦騒音の多い場所などでご使用になる場合で、ブザーの音が聞きとりにくいときは、イヤホンを接続してご使用ください。イヤホンを接続するとブザーからは音が出なくなります。

その他

- ・本製品は、透過型ビームセンサの赤外光タイプと赤色光タイプに適用します。
- ・電源には、6F22(S-006P)タイプの9V乾電池(1個)を使用してください。また、9V乾電池は付属していませんので、別途ご用意ください。
- ・乾電池の装着および交換は、電源スイッチを必ずOFFにしてから行なってください。
- ・使用しないときは、電源スイッチを切ってください。また、長時間使用しないときは、本体から乾電池を外して保管してください。
- ・種類にもよりますが、ラピッドスタート式や高周波点灯式の蛍光灯の光は、光軸調整に影響を及ぼすことがありますので、直接入光しないようご注意ください。

外形寸法図(単位：mm)



⚠ 安全に関するご注意

●ご使用前に「取扱・施工説明書」および「マニュアル」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ご購入の前に

- このカタログに記載の製品の標準価格には、消費税、配送、設置調整費、使用済み製品の引き取り費用などは含まれていません。
- 製品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのでご了承ください。
- 本製品のうち戦略物資(または役務)に該当するものは、輸出に際し、外為法に基づく輸出(または役務取引)許可が必要です。詳細は弊社までご相談ください。
- このカタログに掲載の製品の詳細については、販売店・専門工事店または弊社にご相談ください。
- 本製品は、工業環境に使用する目的で開発/製造された製品です。
- (免責事項)本カタログに掲載された使用用途例はすべて単なる例示でしかありません。本カタログに掲載された弊社製品を購入されたことにより、ここに掲載された使用用途例に弊社製品を使用するライセンスが許諾されたことにはなりません。弊社としましては、このような使用用途例について、特許権等の知的財産権を保有していることを保証するものではなく、また、このような使用用途例が第三者の特許権等の知的財産権を侵害しないことを保証するものでもありません。

●在庫・納期・価格など、販売に関するお問い合わせは

パナソニック インダストリアル マーケティング&セールス株式会社

本社 ☎03-5404-5187	さいたまオフィス ☎048-643-4735	名古屋オフィス ☎052-951-3073	大阪オフィス ☎06-6908-3817	高松オフィス ☎087-841-4473
仙台オフィス ☎022-371-0766	八王子オフィス ☎042-656-8421	静岡オフィス ☎054-275-1130	京都オフィス ☎075-681-0237	松山オフィス ☎089-934-1977
茨城オフィス ☎029-243-8868	横浜オフィス ☎045-450-7750	浜松オフィス ☎053-457-7155	姫路オフィス ☎079-224-0971	福岡オフィス ☎092-481-5470
宇都宮オフィス ☎028-650-1513	松本オフィス ☎0263-28-0790	豊田オフィス ☎0566-62-6861	岡山オフィス ☎086-245-3701	
高崎オフィス ☎027-363-2033		北陸オフィス ☎076-222-9546	広島オフィス ☎082-247-9084	

●技術に関するお問い合わせは

FAデバイス技術相談窓口

☎ 0120-394-205

※受付時間/9:00～17:00(12:00～13:00、弊社休業日を除く)

Webサイト industrial.panasonic.com/ac/

パナソニック インダストリー株式会社

産業デバイス事業部

〒574-0044 大阪府大東市諸福7丁目1番1号

Panasonic
INDUSTRY